

高校野球

岡山大会

第1日

夏の甲子園出場を懸けた第99回全国高校野球選手権岡山大会第1日は14日、倉敷マスカットスタジアムで開会式に続いて1回戦2試合があり、玉野と和気開谷が初戦を突破した。(1面関連)

玉野は主戦も務める新宮が3打点を挙げるなど9-4で笠岡工に逆転勝ち。和気開谷は主将の藤原が放った2点本塁打が決勝点となり、2-0で作陽を下した。

大会は同スタジアム、倉敷市営、エイコンスタジアム(美咲町)の3球場で実施。順調に日程が消化されれば19、26日の休養日を挟み、28日に代表校が決まる。

第2日の15日は1回戦7試合が行われ、マスカットスタジアムでは倉敷工、城東、理大付のBシード3校が登場する。

【笠岡工-玉野】1回裏玉野2死一、二塁、秋友が左翼線に2塁一塁打を放ち、2-2とする。捕手海



3月まで部員10人 苦境乗り越える

いなかった。春の県大会地区予選は人数不足から不戦敗も経験したが、4月に1年生17人が加わり、状況は一変。部の活気が増し、選手間の競争も生まれた。主将の畑は「心からうれしい」。苦境を共に乗り越えた大切な仲間たちとつかんだ勝利は格別だった。

(亀井良平)

逆らわずに左翼線へはじき返し、同点の適時二塁打。さらに新宮は満塁でスライダースを流し打って走者を一掃し、一挙6点を奪った。この日は計8安打で効率よく9得点。打力強化に励んできたチームが徹底するコンパクトなインングが、夏4年ぶりの白星を引き寄せた。

3月まで部員は10人しか

玉野9点

磨いた打撃

開幕試合制す

笠岡工200020000000
玉野010101000000
▽三塁打 安井、吉野、二塁打 滝、秋友、新宮、藤原

で4点を勝ち越した。投げては先発新宮ら4投手の総投で六回以降、得点を許さなかった。

笠岡工は五回に仁科の犠飛と滝の右前打で2点を返したが、反撃も出来なかった。【亀井良平】

【玉野】玉野が逆転勝ちした。2点を先制された直後の一回、2死一、二塁から秋友の左翼線二塁打で追い付き、さらに押し出し四球、新宮の走者一掃の右翼線二塁打など

笠岡工	打安点
岡守秋仁	410
④	200
⑤	411
⑥	421
⑦	421
⑧	300
⑨	100
⑩	000
⑪	410
⑫	300
⑬	100
⑭	200
⑮	000
⑯	000
⑰	3273

玉野	打安点
安丸崎	512
②	520
③	000
④	000
⑤	400
⑥	200
⑦	532
⑧	300
⑨	300
⑩	111
⑪	113
⑫	001
⑬	000
⑭	000
⑮	000
⑯	2989

笠3430281
和気開谷54841281

△1回戦
▽マスカット
玉野9-4笠岡工
和気開谷2-0作陽

きこのの勝敗